



三沢さとし県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

外航クルーズ船寄港で地域活性化を!

多目的棧橋の拡充を要望



本会議場に登壇した三沢県議

ともに、外国人観光客と地元住民との交流が進展するなどの効果も生まれています。クルーズ船の需要増加と、東京オリンピック・パラリンピックを踏まえて、千葉県としてもクルーズ船の受け入れを契機とした地域

そのためには、港湾施設の整備とともに、外国人観光客のニーズを踏まえた観光資源の魅力向上や、快適な観光周遊をサポートする体制づくりなど、取り組むべき課題があります。こうした中で、君津、安房、中房総地域では、広域的に連携した外航クルーズ船誘致のための環境整備に向けた取り組みを始めており、県としても協力しているところとす。

の拡充要望を受けているところとす。市では、「外国船籍外航クルーズ船誘致計画」を策定したところであり、現在、県と市で外航クルーズ船の国内への寄港の調査を行っているところとす。今後も、館山港多目的棧橋の更なる利用促進に向け、市と協力して着岸可能な外航クルーズ船の調査やクルーズ客の観光動向などを検証し、必要となる棧橋の機能強化について検討を進めてまいります。

●館山市と県政に関するご要望をお寄せください。

三沢さとし 県議事務所

〒294-0037 館山市長須賀470-1
TEL0470-22-3051 FAX0470-22-3052

館山市選出の三沢智(みさわ・さとし)県議は、新年度予算案を審議する2月定例会県議会の一般質問に登壇し、館山市域の諸課題を取り上げ、県執行部に真剣な対応を迫りました。三沢県議は、館山港での外航クルーズ船受け入れについて質問したほか、多目的棧橋が狭いことから、歓迎行事にも支障がでていると指摘し、棧橋の早急な拡充と機能強化を強く要望しました。

また、三沢県議がJRのダイヤ改正に関連し、内房線の利便性向上を求めたのに対し、県はJRを含めた協議の場を設置したことや、館山・鴨川間の道路問題で新たに検討会が設けられたことなどを明らかにしました。三沢県議の主な質疑を特集しました。

クルーズ船誘致は重要

三沢議員 クルーズ船は、ショッピングなど地域での消費地を中心に一度に多くの観光客が訪れ、グルメやの経済活性化につながると

2月県議会一般質問に登壇

活性化を図っていくことが重要だと考えます。そこで質問します。外航クルーズ船の受け入れについて、県はどのように考えているのか。

商工労働部長 外航クルーズ船の寄港によってもたらされる経済効果や、にぎわいの創出、さまざまな文化交流は、地域活性化につながることから、誘致に向けた受け入れ環境の整備が重要だと考えています。

歓迎行事にも支障

三沢議員 館山港の多目的棧橋の利用促進に向けた拡充の取り組みを早急にできないか。

県土整備部長 館山港の多目的棧橋は、平成22年4月の供用以来、国内クルーズ船の寄港などで利用していただいておりますが、大型バスの巡回や歓迎行事の実施に支障があるとして、棧橋

要望 少子化の中、私たちの住んでいる館山市、南房総地域、鴨川地域でも人口が減少しています。そのためには、観光客にも多く来てもらえるよう、県としても一生懸命やっていたきたいと思っています。

水産業への台風被害

三沢議員 平成29年10月の台風21号による水産業施設被害の対応状況はどうか。

農林水産部長 昨年の台風21号は、防波堤などの漁港施設や荷捌き所などの共同利用施設、漁船などに大きな被害を与え、被害額は約9億7千万円に上りました。これらの被害のうち、富崎漁港の防波堤などの漁港施設は、夏までの復旧に向け設計図書の作成を進め、館山市内の荷捌き所は、現在復旧工事を進めているところとす。



館山港の多目的棧橋

地域の公共交通施策を要望



再質問に立つ三沢県議

内房線ダイヤ改正

三沢議員 JR内房線

は、昨年3月のダイヤ改正で、日中時間帯の千葉・館山間を直通する普通列車が廃止され、君津駅で乗り換えが必要になるという、住民にとっては大変シヨッキングな改正が行われました。

列車の増便や観光列車の運行など、内房線の利便性向上に向けて、県はどのように取り組んでいくのか。

総合企画部長 内房線

は、沿線住民の通学・通勤の足として、また、南房総地域の観光をはじめとする地域振興のためにも欠かせない路線であり、その利便性を向上させていくことは

重要だと認識しています。

このため県では、特急列車や快速列車の運行区間の延伸など、ダイヤ改正について毎年、JRへ要望を行っています。また、沿線市町やJRと連携して、サンキューちばフリーパスの発売や、地酒を楽しめるお座敷列車を企画するなど、観光振興の取り組みも行ってきたところ

です。さらに、こうした取り組みを層強化するため、1月には、県、沿線市町及びJRの3者で協議を行う場を設置したところで、今後あらゆる機会を通じて、関係者と協議してまいります。

地域バスへの支援

三沢議員 市町村が取り

組んでいるコミュニティバスの運行に対し、県はどのような支援を行っているのか。

総合企画部長 コミュニ

ティバスは、市町村が交通不便な地域の解消策の一つとして、住民ニーズを踏まえながら運行しているもので、地域にとって重要な公共交通となつています。

一方で、導入に当たっては、住民の利便性を確保しながら、採算性も考慮した運行ルートや料金設定を行う必要がありますので、市町村によっては十分なノウハウがない場合もあります。

このため県では、国と連携し、先進事例の研究を行う研修会や、個別の課題に

応じた相談会を開催し、助言等を行うなどの支援を行っているところです。

要望 県は、JRに対し要望を行うだけでなく、沿線市町とJRが協議を行う場を設定し、利便性向上に向けた議論も

行っているという、前向きな答弁をいただきました。今後も、地元市町の声をよく聞いて、南房総地域の発展のために取り組んでいただきたいと思っています。

また、SLや自転車専用列車「B.B.B.A.S.E」など、乗って楽しい列車の企画やPRに関し、県においても沿線自治体と協力して

取り組むことを要望します。

館山・鴨川間道路計画

三沢議員 館山・鴨川

間道路交通対策検討会の設置目的と今後の検討の進め方はどうか。

県土整備部長 館山・鴨

川間の道路は、観光や物流を支える幹線道路に交通が集中し、市街地を中心に渋滞が発生している状況です。このような中、館山市・鴨川市間の交通課題に対する

要望 昨年、「地域高規格道路」館山・鴨川道路整備促進期成同盟」が設立され、国や県に対し、早期整備の要望活動を行っており、計画の具体化に向けて、地元では大きな期待を持っています。

この検討会を通じて、館山・鴨川間の交通の円滑化に向け、地元市町の意見をしっかりと聞いていただき、さらに議論を深めていただくことを要望します。

地域農産物の販売促進

三沢議員 地域

農産物の販売促進に向けて、県はどのように取り組んでいるのか。

森田知事 地域

の特色ある農産物を販売促進していくには、その特徴を見極め、差別化を図り、付加価値を高めるとともに、県内外の消費者や実需者に、その魅力を伝えることで新たな販路開拓などに

取り組んでいくことが重要だと考えています。

このため、県では

○温室びわなど、地域ならではの品目のブランド化に対する支援
○卸売業者や小売店に向け

た産地見学会の開催
○地域の直売所や首都圏の量販店におけるフェアの開催
○安房地域商談会「大地と海の恵み発信」の開催

や、全国規模の商談会への出展支援
などさまざまな取り組みを展開しているところです。
今後とも、生産者の所得向上につなげてまいります。

森林環境譲与税

三沢議員 平成31年度から

譲与される予定の(仮称)森林環境譲与税について、県の対応はどうか

農林水産部長 (仮称)

森林環境譲与税は、市町村が主体となった森林整備やその促進に要する費用に充てることとされています。この譲与税により、私有林が森林全体の9割を占める本

県では、市町村と森林情報共有し、効率的な森林整備が行われるよう、平成30年度に森林クラウドシステムを導入するなど、市町村を積極的に支援してまいります。

タンデム自転車解禁へ

三沢議員 東京オリンピック

ツク・パラリンピックでは、タンデム自転車と呼ばれるサドルとペダルが複数装備された自転車による競技も予定されています。タンデム自転車の解禁に向けた進捗状況はどうか。

警察本部長 千葉県では、

タンデム自転車に2人が乗車して道路で運転することは、千葉県道路交通法施行細則により禁止されていますが、その改正について要望があることは承知しています。

そのため、本県でも他の都道



2人乗りのタンデム自転車